

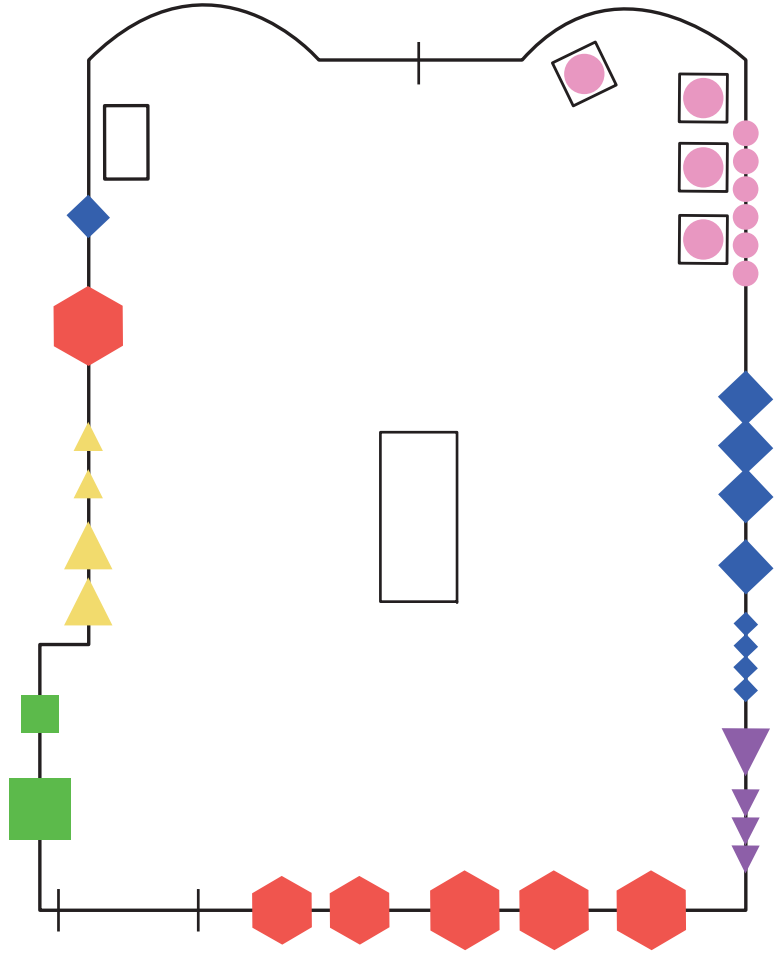
10 覧会展 後期

2015. 8/27(木) - 9/1(火)



10 覧会展の後期がいよいよスタートしました。今回は絵画の展示で統一されていましたが、染織や陶芸も加わり、より見応えのある展覧会となりました。では、作品の紹介をしていきましょう。

*記号が作品の展示場所を表しています。



- 阪口 敬子
- ◆ 松元 万知子
- 桂 千草
- ▲ 濱本 元子
- ⬡ 松井 寿美子
- ▼ 畑 尚子

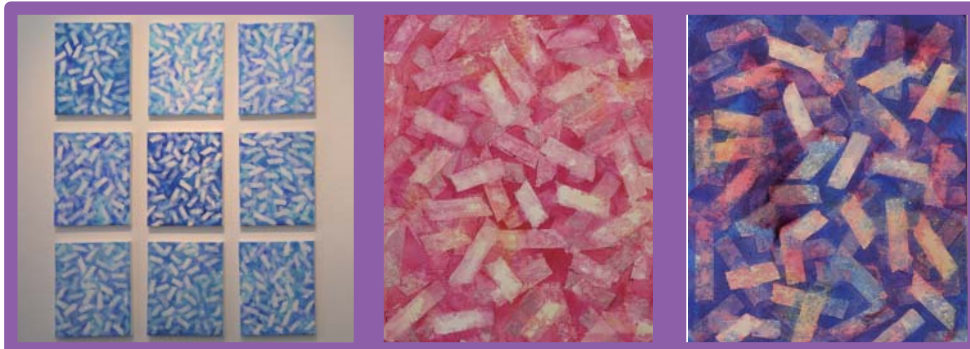
画像・イラスト等の保存・無断使用・転載・二次利用等は堅く禁止します



桂 千草さんの作品は、テラコッタ*と釉薬をかけた作品との2種があります。土の特徴を活かすような柔らかく優しい雰囲気の商品が多く、素材と表現がとてもマッチしています。
*テラコッタ (terra cotta) とは、イタリア語で cotta(焼いた)terra(土)という意味を持ち、赤茶色い素焼きのものが特徴です。



松元 万知子さんの作品は、水彩の柔らかな表現がとても美しく色や構成など、バランス良くデザインされています。まるで絵本の世界に迷い込み冒険をしていくような感覚にもなり、心地よい宵闇の静けさも伝わってくるようです。



畑 尚子さんの作品はマスキングテープを重ね、色が重なり合う表現が特徴です。淡い色使いが非常に美しく、遠近感もあり花びらや雪がひらひらと舞っているようにも見えてきます。



松井 寿美子さんの作品は一つ一つ異なる織物にフレームをつけて統一されているので、織の細部まで目が行き届きます。波打つような表現やキラリと光るビーズなど、遊び心もあり見る度に発見があります。アクリルで描かれたハシビロコウの力強い瞳に心惹かれます。



阪口 敬子さんは染物の作品です。和モダンな表現がとても愛らしく、植物や昆虫がカラフルに表現されています。染めの色合いが繊細な表現とマッチし、独特な世界観で魅了します。



濱本 元子さんは構造的な形の表現が特徴です。ボールが色々な所を巡っているように飛んだり、跳ねたり、転がったり、カラフルな色合いでリズムカルな様子を楽しく表現しています。